

令和 2 年度

学校評価アンケートのお知らせ

天童市立干布小学校

令和3年2月19日

TEL 654-2307

FAX 654-2292

アンケートへのご協力ありがとうございました

日頃から、本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて干布小学校では、学校の教育目標である「心豊かにたくましく伸びていく子供」の育成に向けて、4つの学校経営の重点に計11項目の具体策を設定し教育課程を編成しておりました。しかしながら、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により4月から臨時休業となり、再開後も教育活動の中止や変更、制限下での活動を余儀なくされました。

こうした状況の中でも、全教育活動を貫くキーワード「つなぐ・かわる」を総括的な視点とし、教育活動に取り組んでまいりました。コロナ禍であっても児童と「様々な人やもの・こと」をつなぐ働きかけにより、児童が様々な出会いや体験を通して多様な価値にふれ、よりよいものを求めようとすることを大切にまいりました。また、「かわる（変わる・替わる・代わる）」ことによって、学びを止めることなく、コロナ禍だからこそ変えなければならないこと、替えられること、代わりになることを考え、取り組んでまいりました。

このような「つなぐ・かわる」の視点で展開した学校経営の重点に基づいた具体的な取組みについて、ご協力いただきましたアンケートを分析・考察した結果、教育活動の質的向上に向けて改善すべき点、さらに努力すべき点が明らかになりました。この結果を真摯に受け止め、課題は具体的な対策を講じて改善を図ってまいります。

未だ終息の見通しが立たない状況ではありますが、学びを止めることなく地域の「様々な人やもの・こと」とつながり、よりよいものをもとめてかわることを厭わず、今年以上に学びが深まるよう取り組んでまいります。今後とも、この度のアンケートに限らず、学校へ忌憚のないご意見やご指導をいただきますようお願いするとともに、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年度 学校経営の重点と具体策

経営の重点1 自ら考え、学び続ける子供

- 校内研究「付けたい力を明確にした学習指導」の日常化
- 付けたい力で単元をつなげるカリキュラム
- 新学習指導要領にスムーズな実施

経営の重点2 思いやりをもち、つながりを深める子供

- 生徒指導を基盤とした教育活動
- チームで取り組む特別支援教育
- 実感を伴う教育活動の吟味

経営の重点3 生命を大切にする子供

- 読書活動を広げる
- 健康教育の充実
- 安全教育の推進

経営の重点4 ふるさとを愛する子供

- 保護者との温もりのあるつながり
- 地域との温もりのあるつながり

教育活動を貫く
キーワード

つなぐ・かわる

千布小 児童アンケート 集計結果

上段：令和3年1月実施、下段：令和2年1月実施

No.	項目	よくあてはまる	あてはまる	あてはまらない	あてはまらない
1	学習課題がわかり、自分で考えて解決しようと努力している。	60%	33%	7%	0%
		58%	41%	1%	0%
2	友達の考えをよく聞いて、自分の考えを発表している。	46%	32%	20%	2%
		33%	50%	16%	1%
3	授業で学んだことを他の学習や生活に生かしている。	54%	39%	7%	0%
		50%	44%	6%	0%
4	ぼく(わたし)は先生に自分の気持ちをよく話している。	42%	39%	18%	1%
		37%	45%	16%	2%
5	児童会や学級での活動で、自分たちで考えたためあてに向かって活動を工夫している。 (下学年：自分の係や役割をしっかりとがんばっている)	64%	28%	7%	1%
		65%	31%	3%	1%
6	いじめをしたりされたりせずに、友達と仲良くしながら、楽しく学校生活を送っている。	78%	19%	3%	0%
		65%	27%	6%	2%
7	道徳の時間に、自分の生活とくらべて考えている。 (下学年：自分で考えたことを発表している)	58%	28%	10%	4%
		47%	42%	9%	2%
8	本をたくさん借りて読んでいる。	58%	22%	17%	3%
		45%	36%	17%	2%
9	自分のためあてをもって、進んで運動に取り組んでいる。	58%	31%	10%	1%
		56%	33%	10%	1%
10	早寝(夜10時まで)早起き(朝6時半前)ができています。	37%	39%	17%	7%
		30%	44%	18%	8%
11	学級の人や先生、地域の方に進んであいさつしている。	72%	20%	7%	1%
		68%	30%	2%	0%
12	登校、下校のとき、交通ルールを守って歩いている。	84%	14%	2%	0%
		92%	8%	0%	0%
13	進んで地域の行事や活動に参加している。	令和2年度は未実施			
		69%	23%	7%	1%
14	総合的学習や教科での体験活動のあとに、自分の考えをしっかりと書いている。	59%	30%	9%	2%
		63%	30%	5%	2%
15	地域(千布地区・天童市・山形県)での体験活動をするときに、社会科や理科、国語で学習したことを生かしている。	32%	37%	24%	7%
		43%	51%	6%	0%

*****学校評価における児童アンケート結果の考察*****

◇1「学習課題がわかり自分で解決しようと努力している」

「よくあてはまる・あてはまる」の回答が9割を超えていますが、令和2年1月のアンケート調査時から微減しています。「なぜ?」「どうして?」といった問題意識と目的意識をもって学習課題に取り組み、自ら考える探究的な学びや「…を他の場面で考えてみると…」「もし……だったら?」などと考える発展的な学びが展開されるように、教材や指導の工夫を重ねてまいります。

◇2「友達の考えをよく聞いて自分の考えを発表している」

「よくあてはまる」の回答が増加しましたが、「よくあてはまる・あてはまる」でみると減少しています。「考えを聴く」「考えを話す」のどちらも、主体的な学習にとっては欠かせないものです。全体の5分の1が「あてはまらない・まったくあてはまらない」と回答していることから、「他者の話を聴くこと」「自らの考えを表現すること」の指導に力を入れ、特に「他者の考えと比べて聴くこと」「自分の考えの理由や根拠を示して話すこと」に力を入れて取り組んでまいります。

◇3「授業で学んだことを他の学習や生活に生かしている」

「よくあてはまる」が増加し、「よくあてはまる・あてはまる」の回答は今年度も9割を超えました。今年度は、「つなぐ」をキーワードに掲げ、教科の学習に閉じずに学びを他の活動に生かせるよう学習指導に取り組んできました。今後も、実際の生活で生きて働く「知識・技能」となるように、また、実際の場面でも対応できる「思考力・判断力・表現力」となるように、学んだことを実生活の中で発揮する場面を意図的に設定してまいります。

◇4「先生に自分の気持ちをよく話している」

「よくあてはまる」が増加しました。昨年度に引き続き8割以上が「よくあてはまる・あてはまる」と回答しています。昨年度より干布スピリットとして「信頼」と「温もり」を掲げ、児童を一人の人格として尊重するやさしくあたたかなかわりと、そのかわりの中で信頼関係を構築することを大切にまいりました。あまり気持ちを話せていないと考えられる約5分の1の児童が、いつでも話せる、何でも話せるような環境を整えてまいります。

◇6「友達と仲良くしながら、楽しく学校生活を送っている」

「よくあてはまる」が大きく増加し、「よくあてはまる・あてはまる」の全体も増加しています。いじめやトラブル等が全くないというわけではありませんが、多くの児童が楽しい学校生活を送っていることがうかがえます。「あまりあてはまらない」と回答した児童の状況・原因を把握し、改善を図るとともに、自分で考え、児童主体の活動をつくりだすことを支援することで、学校生活の主体者としての楽しさを実感できるように工夫して指導してまいります。

◇8「本をたくさん借りて読んでいる」

「よくあてはまる」の回答が増加しました。昨年度に引き続き8割以上が、「よくあてはまる・あてはまる」と回答しています。国語科の学習や児童委員会の主体的な取り組みを通して、読書への興味・関心を高め、読書の機会を多くとってきましたが、多く借りる児童はより借りるようになり、図書室へあまり足が向かない児童はそのままという状況がうかがえます。自ら資料を調べたり、図鑑を見たりするなど、幅広い読書活動ができるように学習指導を工夫してまいります。

◇12「登下校時、交通ルールを守って歩いている」

「よくあてはまる」と回答した児童が大きく減っています。自信をもって「交通ルールを守っている」と言える状態が望ましいと考えます。自ら考え、自ら判断し、自ら行動に移すことができるように、様々な機会を通して効果的な指導を工夫してまいります。

干布小 保護者アンケート 集計結果

上段：令和2年12月実施，下段：令和元年12月実施

No.	項目	よくあてはまる	あてはまる	あまりはまらない	あてはまらない
1(1)	お子さんは、学校の勉強の内容が分かっていると思いますか。	22%	66%	12%	0%
		25%	60%	14%	1%
1(2)	お子さんは、家庭学習のとき、自分で学習を進めることができますか。	23%	56%	18%	3%
		25%	48%	24%	3%
2(1)	担任や学校に気軽に相談できますか。	31%	63%	5%	1%
		47%	50%	2%	1%
2(2)	お子さんは、いじめなどなく、友達と仲良くしながら楽しく学校生活を送っていますか。	45%	55%	0%	0%
		56%	42%	2%	0%
2(3)	お子さんは、道徳的な行動が身に付いていますか。(思いやり、ルールを守るなど)	26%	68%	6%	0%
		26%	69%	4%	1%
3(1)	お子さんは、家庭でも読書に親しみ、本をたくさん読んでいますか。	11%	34%	48%	7%
		9%	29%	49%	13%
3(2)	お子さんは、進んで運動したり、体を動かして遊んだりしていますか。	28%	39%	30%	3%
		31%	38%	28%	3%
3(3)	お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯の習慣や、節度あるゲーム遊びの習慣などが身に付いていますか。	13%	55%	25%	7%
		13%	56%	28%	3%
3(4)	お子さんは、地域の人や、家族、友達に自分からあいさつをしていますか。	20%	60%	16%	4%
		21%	59%	17%	3%
3(5)	お子さんは、自転車の乗り方や歩行の仕方などの交通ルールを守って安全に生活していますか。	41%	56%	1%	2%
		40%	54%	6%	0%
4(1)	学校だより、学年だより、ホームページなどをとくに、学校の教育活動のようすがより伝わっていますか。	49%	47%	4%	0%
		41%	50%	8%	1%
4(2)	お子さんは、進んで地域の行事や活動に参加していますか。	令和2年度は未実施			
		54%	39%	6%	1%
4(3)	家庭で、学校の生活科(1・2年)、総合的学習(3～6年)の学習のことが話題になることがありますか。	26%	51%	20%	3%
		27%	46%	24%	3%

***** 学校評価における保護者アンケート結果の考察 *****

◆ 1(1) 『学習内容の理解』

「よくあてはまる・あてはまる」が微増となりました。今年度は、年間指導計画の変更を余儀なくされましたが、育成を目指す資質・能力を明確にした上で、効果的な指導と学習状況の把握に努めてまいりました。引き続き、「わかる・できる」授業づくり取り組むとともに、「知りたい、やりたい、できるようになりたい」と自ら探究しながら学びを深めようとする態度の育成に努めてまいります。

◆ 1(2) 『家庭での自学』

「よくあてはまる・あてはまる」が昨年度と比較して増加したものの、全体の5分の1が「まったくあてはまらない・あまりあてはまらない」と回答し、家庭学習を自ら進めることができていない状況がうかがえます。学習の自立を促すことができるように、家庭学習の内容を工夫するなど研究してまいります。引き続き家庭学習の確認などご協力をお願いいたします。

◆ 2(1) 『担任や学校への相談』

「よくあてはまる・あてはまる」が昨年度と比較して減少しており、特に「よくあてはまる」が大幅に減少しました。「来校機会がほとんどなかった」、「授業時数が増え、学校生活・学校運営に時間的ゆとりがないようにみえた」等、コロナ禍による物理的な要因も考えられますが、保護者の皆様が相談しやすい雰囲気づくりや窓口の周知など、相談体制の改善を図ってまいります。

◆ 2(2) 『いじめなどが無い楽しい学校生活』

「まったくあてはまらない」と「あまりあてはまらない」が0%となりました。いじめがないということではありませんが、こうした状況が継続できるように、いじめられた児童、いじめってしまった児童双方のケアを丁寧に行い、いじめの確実な解消に努めるとともに、児童主体の楽しい学校生活づくりを通して、未然防止に取り組んでまいります。

◆ 3(1) 『読書に親しみ、本をたくさん読んでいる』

昨年度、一昨年度も課題となった項目ですが、今年度は「あてはまる・よくあてはまる」の回答が、38%から45%へと改善しました。読書する楽しさや価値を実感するような国語科の学習や図書室利用を促進する児童主体の取組み等の成果があらわれたのではないかと考えています。今後とも、読書を通して、豊かな心情や語彙力・文章表現力の育成だけでなく、情報収集・情報活用能力など、学習の基盤となる資質・能力の育成にも努めてまいります。

◆ 3(3) 『基本的生活習慣の形成』

昨年度とほぼ同様の結果となりました。学校での生活指導や保健指導、ご家庭の皆様にご協力いただいている「さわやかカード」など、これまでの取組みの効果を検証することが必要と考えています。望ましい生活習慣の形成・維持には、学校・家庭の連携が欠かせません。引き続きご協力をお願いいたします。

◆ 3(5) 『交通ルールを守る』

「あてはまる・よくあてはまる」が高い数値を維持していますが、「まったくあてはまらない」との回答もありました。幸い、現在のところ交通事故の報告はありませんが、引き続き、学習指導や通学班会等を通して、安全な登下校だけでなく自転車乗りを含めた交通安全について指導してまいります。誰一人事故に遭うことなく過ごせるように、ご家庭でも交通安全について繰り返し話題にさせていただくとより一層効果的と考えます。

全体的な考察

経営の重点1 自ら考え、学び続ける子供

自ら考え、学び続ける子供の育成のためには、学習内容に関する問題意識と学習する目的意識をもった探究的な学びが展開されるように、より一層指導の工夫を図る必要があります。探究的な学びを通して、自ら考える楽しさや主体的に学ぶ楽しさを積み重ねていくことで、学びの自立と学んだことを実生活に生かすことができるようになると思います。保護者アンケートからは、家庭学習における自立した学びに関して改善傾向がみられるものの、全体の5分の1が家庭学習の取組みに結びついていない状況がみられました。学校・家庭問わず、自ら考え学んだことを実際の生活で活用したり、行動したりできる実践的な力の育成に向けて、授業研究を通じた指導改善や教育活動の工夫を図ってまいります。

経営の重点2 思いやりをもち、つながりを深める子供

いじめに関しては、昨年度に引き続き良好な状態を維持していることが保護者・児童双方のアンケートからうかがえます。この結果に安心することなく、児童の様子を丁寧にとらえ、深い子供理解にもとづいた温もりある支援を継続していくことが大切と考えています。また、コロナ禍の中で、つながりを深める交流の機会を十分にとることが難しい状況でしたが、運動会の代替行事や児童委員会の取組みなど、縦割り班による異学年のつながりをより意識しながら活動することができました。数少ない機会でしたが、互いのがんばりや良さを認め合う場面から、共感的な人間関係を築こうとする意識の高まりがうかがえました。児童が自分たちの生活で大切なことは何かを考え、必要な活動を実践し、豊かな学校生活を創り出していくことができるように支援してまいります。

経営の重点3 生命を大切にしている子供

早寝・早起きなど、基本的な生活習慣にかかわるアンケートでは、保護者・児童ともに昨年度と大きな変化はありませんでした。生活リズムや基本的な生活習慣を整えることは、健康的な生活をおくるという面だけでなく、学力との相関関係を指摘する研究もあることから、今後も大事にしていきたいと考えています。今年度は、熱中症予防や手洗いの励行に関して、児童の主体的な活動を通して健康について一人一人が考え、判断し、行動する機会が多くありました。また、学校生活内外において、危険を回避する判断力の育成を意識してきました。児童のアンケート結果からは、交通ルールの遵守に関して「よくあてはまる」と回答する児童が減少していました。自らの命や安全を確保するための判断力を育成するとともに、行動に移す実践力を育成することも大切だと考えています。

経営の重点4 ふるさとを愛する子供

地域とのつながりを大切にするとともに、学習したことを地域に発信する機会を積極的にもつことを昨年度の本評価の考察に記していました。しかしながら、コロナ禍により、これまでのように児童が地域へ出かけたり、地域の皆様から学校にお出でいただいたりして交流する機会があまりもてませんでした。今年度は、数少ない機会を生かし、自然体験活動を干布地区で実施したり、時間や内容を削減して地域に出かけたりする中で、ふるさとに学び、ふるさとについて考える活動を取り入れてきました。今後も、地域で生きる一員として地域を大切に思う児童の育成に向けて工夫してまいります。

◆◆◆学校評議員会でのご意見<2月1日開催>◆◆◆

- *教室で落ち着いて授業に取り組んでいる児童の様子をみると、児童と教員の関係のよさが伝わってくる。日々研修を重ねている成果だと思われる。
- *いつも通りではないコロナ禍で、児童がどう育っているか気になっていた。修学旅行の取組みは、指導者の発想1つで、ピンチがチャンスになり得ることを示している。コロナ禍でできないことを受け止め、どうしていくか考えることが大事。臨機応変に対応し、乗り越えた先に成長があり、児童がすくすく育っていると感じた。
- *アンケート項目の「いじめなどなく楽しい学校生活を送っている」について保護者の回答がよい傾向にあるのは、学校生活に対する安心感や信頼感があるからだと思う。
- *地域でのあいさつが以前より良くなってきた。パトロールしていると子供の方から手を振ってくれるようになった。
- *将来を見据え、地域を支える人材の育成を視野にいれて教育活動に取り組んでいることが心強い。
- *コロナ禍の様々な制限があり、ストレスが心配される。それが子供へ影響を及ぼすことも考えられる。家庭・学校での子供の様子を敏感にとらえ、子供の成長につないでほしい。